

シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第4回

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登いのうえ ひろと

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「昔の服装(仕事着)」

昔の現場の仕事着・作業服については厳密なルールは無かったようですが、時代や地域、職場ごとのそれなりのスタイルがあったものと思われまます。



明治時代末頃、松本小林区署管内の土場にて
(現在の中信森林管理署管内)

残されている明治時代末頃から昭和初期の写真を見ると、上半身は和服や法被姿の人もいれば、洋装の人もいました。また、下半身は袴はかまであれズボンであれ、すねに脚絆きゃはん(ゲートル)を巻いて動きやすくしています。これは戦後の作業風景にも通じるものがあります。



昭和初期頃、御料林の造林夫達
(現在の南信森林管理署管内)

ヘルメットはまだ普及していませんでしたので、帽子を被った人や手拭いを巻いた人が目立ちます。これには安全対策や日除けの他に、虫よけなどの衛生的な意味もありました。



昭和初期頃、岐阜県小坂町の運材夫達
(現在の岐阜森林管理署管内)

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。
当サイトへは、QRコードを読み込んでください。

